

入間市学童保育室整備計画(案)

(公共施設マネジメント事業計画 個別施設計画)

令和2年4月

こども支援部青少年課

目 次

1	計画策定の趣旨	1
2	入間市の施策との関係	2
3	計画期間	2
4	人口の動向	3
	(1) 人口の推移	3
	(2) 小学校児童数の推移	3
	(3) 児童数の推計	4
	(4) 合計特殊出生率	4
	(5) 女性の就業率	5
5	学童保育室運営の現状について	6
	(1) 学童保育室の現状	6
	(2) 入室児童の推移	7
	(3) 保育環境	8
	(4) 入室児童数及び職員配置の現状	10
	(5) 待機児童の現状	11
6	施設整備の具体的計画	12
	(1) 量の見込と確保の内容	12
	(2) 施設整備の基本的な考え方	14
	(3) 取組方向	15
7	施設整備を進めるに当たっての考え方	16
	(1) 施設整備の考え方	16
	(2) 小学校の統合に合わせた施設配置の考え方	16
	(3) 放課後児童支援員からの意見聴取	16
	(4) 放課後児童支援員からの意見聴取	16
	(5) 保育の質や保護者ニーズへの考え方	16
8	年別計画 第1期(2019~2028年)	17
9	地区別整備実施計画	18
	(1) 豊岡地区	18
	(2) 東金子地区	20
	(3) 金子地区	21
	(4) 宮寺・二本木地区	22
	(5) 藤沢地区	23
	(6) 西武地区	25
10	(参考) その他学童保育室運営の現状	26

1 計画策定の趣旨

入間市の人口は、平成 23 年の 151,004 人をピークに減少に転じ、自然増減、社会増減ともに減少傾向で推移し少子高齢化が進展することが見込まれています。全国でも同様の人口減少傾向が続いており、核家族の進行や地域関係の希薄化、就労形態の多様化などにより子どもや家庭、地域を取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした社会状況などの変化の中、子育て家庭の現状に目を向けると、共働き世帯の増加や就労形態・時間の多様化などにより学童保育のニーズは増大しています。一方、女性の活力による経済活性化の視点から女性の社会進出が進んでおり、仕事と子育ての両立を支援する環境の整備を進める必要があります。

小学校に通う児童を持つ保護者が安心して働くことができるためには、子どもたちにとって放課後を安全で安心して過ごすための居場所が必要になります。そのうちの一つが学童保育室であり、その整備を促進することがますます重要性を増しています。

本市では、需要の増大に対応しニーズにあわせたサービスを計画的に推進するため、平成 30 年度に就学前児童または小学生がいる家庭に子育て支援に関するニーズ調査を実施しました。これをもとに令和 2 年 3 月に「入間市子ども・若者未来応援プラン」を策定し、令和 2 年度から令和 6 年度までを計画期間とする「入間市子ども・子育て支援事業計画」及び令和 2 年度から令和 5 年度までを計画期間とする「放課後子ども総合プラン行動計画」を同プラン内に位置付け、学童保育に関する量の見込みと目標整備量を明確化し、放課後子ども教室事業との一体的または連携した運営の推進を掲げたところです。

本計画は、「入間市子ども・若者未来応援プラン」に基づき、就労家庭の増加に伴う学童保育室の利用希望の増加に対応した受け入れ態勢を整えるとともに、すべての子どもの安全・安心な居場所の確保を計画的に進めるため、「公共施設マネジメント事業計画」の個別計画として「入間市学童保育室整備計画」を策定するものです。

2 入間市の施策との関係

(1) 入間市の諸施策との関係

平成27年度より開始された子ども・子育て支援新制度は、保育・教育や子育て支援の選択肢を増やし、待機児童の解消に向け教育・保育の量を確保し、職員の処遇改善により保育の質の向上を目指すものです。

平成28年3月には、本市の人口問題に対応していくため、「入間市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、施策を適切な規模で実行していくことで、本市の人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を実現することとなっており、その具体的施策として、「元氣な子どもが育つまち」が掲げられています。

第6次入間市総合計画においても、「ささえあいのまちづくり」のなかで「子ども・子育て支援の充実」が政策として掲げられています。

(2) 「公共施設等総合管理計画」との関係

平成28年3月に策定された「入間市公共施設等総合管理計画」において、施設保有量（総延床面積）の3割縮減や計画的な予防保全の実施による維持管理・運営コストの縮減を図ることが示されました。また、施設の老朽化状況を踏まえた安全性、行政サービスの提供の必要性を観点とした施設の評価を行い、統廃合や複合化、長寿命化など、各施設の今後の方向性が示されました。

学童保育室については、更新が必要な施設については、余裕教室の活用を前提として、原則小学校の校舎内に複合化するものとし、複合化が困難な場合は、原則小学校の敷地内に建設する方向が示されました。

(3) 「公共施設マネジメント事業計画」との関係

「入間市公共施設等総合管理計画」の基本方針に沿って、「公共施設マネジメント事業計画」で再整備の具体的計画が示されました。

学童保育室の再整備・再配置に当たっては、小学校の統合、改修、建替えに併せて複合化を進めますが、学童保育の必要性や施設の老朽化の状況を踏まえ、学校の整備に先行しての整備を検討するとの取組方向が示されました。

本計画は、「公共施設マネジメント事業計画」を上位計画として、その取組方向に基づき、学童保育室の整備を進めるものです。

3 計画期間

本計画の計画期間は、「公共施設マネジメント事業計画」の第1期整備計画に合わせ、令和10（2028）年度までとします。以後、10年ごとに「公共施設マネジメント事業計画」に合わせて、第2期及び第3期の整備計画を策定することとします。

ただし、今後の学童保育のニーズの変化等の状況により、必要に応じ見直しを行います。

4 人口の動向

(1) 人口の推移

本市の人口推移を見ると、総人口は減少傾向にあり、平成30年4月1日現在で148,723人となっています。また、年齢3区分別人口構成の推移を見ると、15歳未満人口と15～64歳人口は減少していますが、65歳以上人口は増加しており、少子・高齢化が進んでいます。

【人口・年齢構成の推移】

各年1月1日現在

	年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	高齢者人口 (65歳以上)	合計
1985年 (昭和60年)	30,292人 26.2%	78,669人 68.1%	6,545人 5.7%	115,506人
2015年 (平成27年)	19,016人 12.7%	93,990人 62.7%	36,946人 24.6%	149,952人
2020年 (令和2年)	17,163人 11.6%	87,901人 59.5%	42,667人 28.9%	147,731人
2045年	10,976人 9.8%	57,972人 51.6%	43,367人 38.6%	112,315人

入間市人口ビジョン・住民基本台帳より

(2) 小学校児童数の推移

本市の小学校の児童数は、平成20年度の8,535人に対し、平成25年度には8,038人となり、平成20年から497人減少しています。平成30年度には、7,303人となり、平成25年度から735人減少しています。

【小学校児童数推移】

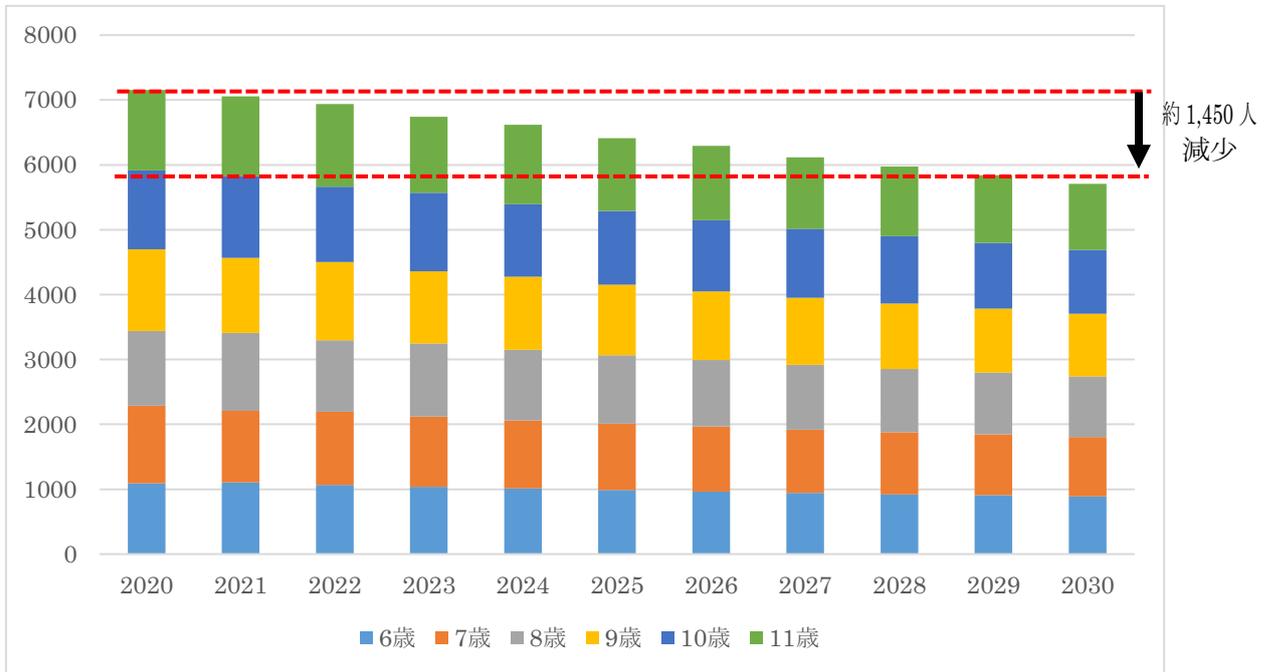
各年5月1日現在

平成20年度	平成25年度	平成30年度
8,535人	8,038人	7,303人

入間市人口ビジョンより

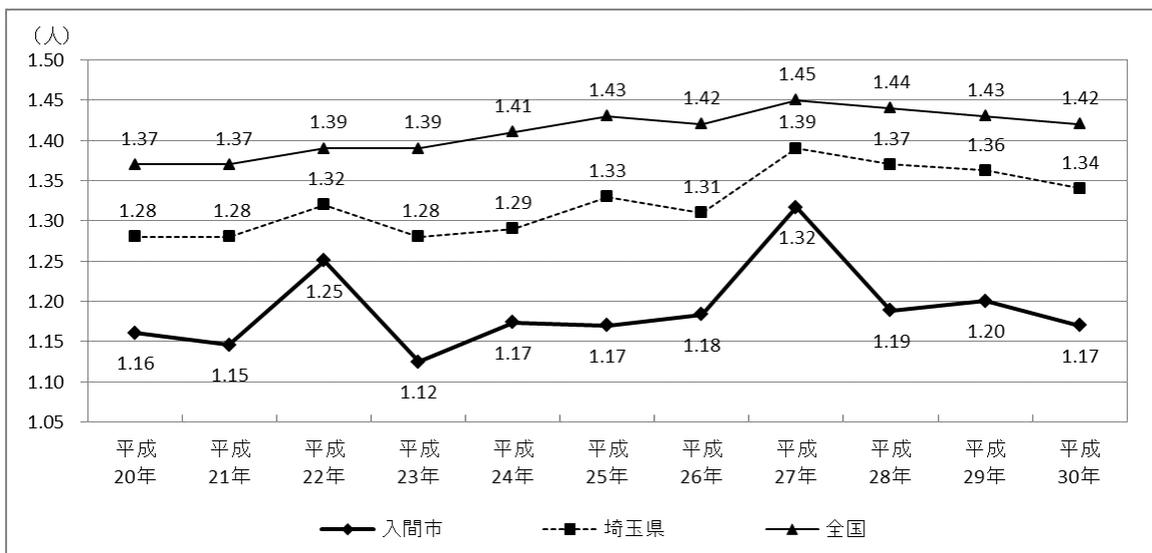
(3) 児童数の推計

平成28年3月に策定された「入間市人口ビジョン2015」による年齢ごとの10月1日現在の小学校児童数[現在の人口動向（トレンド）での推計]は、2030年度の6～11歳の人口は2020年度よりも約1,450人減少するという推計となっています。



(4) 合計特殊出生率

出生率（合計特殊出生率）を見ると、平成28年は入間市が1.19、埼玉県が1.37、全国が1.44となっており、入間市は低い水準にあります。



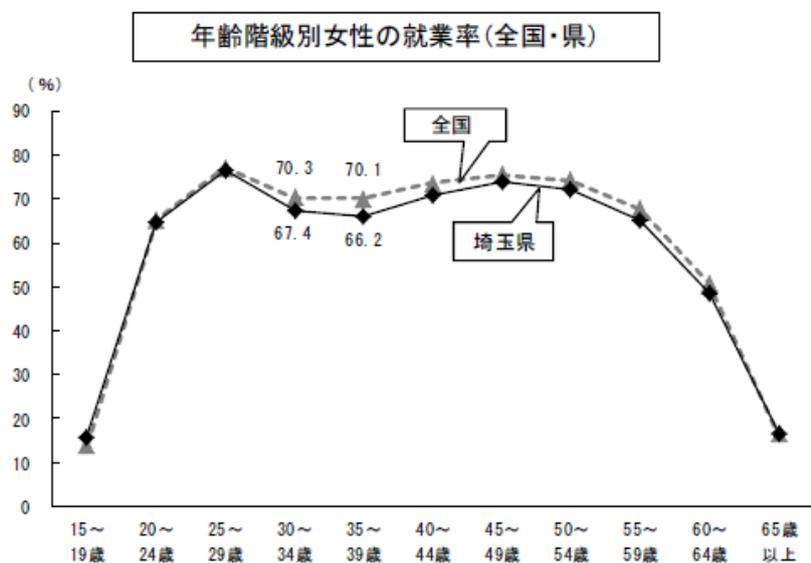
出典：「埼玉県の合計特殊出生率」埼玉県ホームページより

(5) 女性の就業率

総務省「国勢調査」によると、平成27年10月1日現在、埼玉県30歳～39歳の女性の就業者数は279,019人で、就業率は66.7%でした。

年齢階級別にみると、埼玉県の女性の就業率は20～64歳の各階級で全国を下回っています。特に、30歳～34歳は67.4%と全国（70.3%）より2.9ポイント、35歳～39歳は66.2%と全国（70.1%）より3.9ポイント低くなっています。

入間市の平成27年10月1日現在の30歳～39歳の女性の就業率は、67.5%で県内で35位でした。なお平成22年の国勢調査での入間市の30歳～39歳の女性の就業率は、63.0%であり、5年間で4.5ポイント上昇しています。



資料: 総務省統計局HP「平成27年国勢調査」

5 学童保育室運営の現状について

(1) 学童保育室の現状

定員の総数は 1,130 人、施設数は 21 施設あり、設置場所の内訳は校舎内が 5 施設、校地内が 10 施設、校地外が 6 施設です。30 年を経過した施設が 5 施設あり、施設の老朽化が進んでいます。

令和 2 年 4 月 1 日現在

	施設名	設置年月	年数	構造	設置場所	面積 (㎡)	定員 (人)
1	豊岡学童保育室	昭和 59 年 3 月	36	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	142.6	70
2	藤沢学童保育室	平成 6 年 3 月	26	木造平屋建	校地内	138.1	40
3	西武学童保育室	平成 27 年 1 月	5	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	67.0	40
4	西武第二学童保育室	平成 27 年 1 月	5	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	67.0	40
5	東金子学童保育室	昭和 56 年 6 月	38	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	129.6	70
6	藤沢北学童保育室	昭和 58 年 6 月	36	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	142.6	70
7	高倉学童保育室	昭和 59 年 4 月	36	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	139.3	70
8	黒須学童保育室	平成 6 年 11 月	25	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	172.7	70
9	扇学童保育室	平成元年 4 月	31	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	105.1	60
10	扇第二学童保育室	平成 22 年 4 月	10	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	79.3	50
11	金子学童保育室	平成 2 年 7 月	29	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	71.0	50
12	金子第二学童保育室	平成 29 年 3 月	3	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	66.2	40
13	狭山学童保育室	平成 20 年 4 月	12	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	130.8	70
14	藤沢南学童保育室	平成 30 年 4 月	2	鉄骨造 2 階建	校地内	69.55	40
15	藤沢南第二学童保育室	平成 30 年 4 月	2	鉄骨造 2 階建	校地内	77.0	40
16	藤沢東学童保育室	平成 5 年 4 月	27	鉄筋コンクリート造	校地内	110.3	70
17	藤沢東第二学童保育室	令和 2 年 4 月 (平成 24 年 2 月築)	8	鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	107.6	40
18	仏子学童保育室	平成 8 年 4 月	24	木造平屋建	校地内	77.84	50
19	宮寺学童保育室	平成 12 年 11 月	19	鉄筋コンクリート造	校舎内	63.75	35
20	新久学童保育室	平成 17 年 4 月	15	鉄筋コンクリート造	校舎内	97.94	60
21	東町学童保育室	平成 19 年 4 月	13	鉄筋コンクリート造	校舎内	90.4	55
22	東町第二学童保育室	平成 31 年 4 月	1	鉄筋コンクリート造	校舎内	96.0	40
合 計							1,170

(2) 入室児童の推移

各年度4月1日現在

No.	施設名	定員	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R2/4/1 充足率
1	豊岡学童保育室	70	60	51	67	69	68	70	100.0%
2	藤沢学童保育室	40	69	51	52	56	52	52	130.0%
3	西武学童保育室	40	46	52	48	51	48	39	97.5%
4	西武第二学童保育室	40	46	51	51	49	49	40	100.0%
5	東金子学童保育室	70	60	64	63	54	46	45	64.3%
6	藤沢北学童保育室	70	76	88	83	84	92	86	122.9%
7	高倉学童保育室	70	43	38	37	25	32	44	62.9%
8	黒須学童保育室	70	87	93	68	64	65	73	104.3%
9	扇学童保育室	60	62	58	51	50	49	59	98.3%
10	扇第二学童保育室	50	49	47	49	52	52	50	100.0%
11	金子学童保育室	50	45	34	32	33	36	37	74.0%
12	金子第二学童保育室	40	40	33	31	25	27	32	80.0%
13	狭山学童保育室	70	57	58	59	68	66	59	84.3%
14	藤沢南学童保育室	40	52	59	51	29	24	30	75.0%
15	藤沢南第二学童保育室	40	—	—	—	27	25	29	72.5%
16	藤沢東学童保育室	70	75	74	65	80	70	45	64.3%
17	藤沢東第二学童保育室	40	—	—	—	—	—	38	95.0%
18	仏子学童保育室	50	48	51	52	52	46	52	104.0%
19	宮寺学童保育室	35	39	36	33	28	39	34	97.2%
20	新久学童保育室	60	53	46	37	33	42	42	70.0%
21	東町学童保育室	55	60	63	70	63	45	48	87.3%
22	東町第二学童保育室	40	—	—	—	—	31	36	90.0%
合計		1,170	1,067	1,047	999	992	1,004	1,040	88.9%

※定員は、令和2年4月1日現在のものです。

※平成29年4月に藤沢南第二学童保育室を、平成31年4月に東町第二学童保育室を、令和2年4月に藤沢東第二学童保育室を開室しています。

※市立学童保育室のほかに、令和2年4月に民設の「アフタールームチポリーノ」が26人の定員で開設しています。

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
1学年	1,271人	1,160人	1,207人	1,102人	1,146人
2学年	1,289人	1,263人	1,155人	1,211人	1,106人
3学年	1,292人	1,292人	1,254人	1,159人	1,216人
4学年	1,323人	1,283人	1,289人	1,266人	1,156人
5学年	1,285人	1,326人	1,279人	1,285人	1,270人
6学年	1,414人	1,282人	1,326人	1,278人	1,284人
合計	7,874人	7,606人	7,510人	7,301人	7,178人

(3) 保育環境

① 定員、職員配置、施設基準、施設設備

- ・定員 1支援単位あたりの定員は概ね40人以下とする。
- ・職員配置 条例上は1支援単位あたり放課後児童支援員2人以上としているが、より安全な保育を実施するため、1支援単位あたり放課後児童支援員3人、放課後児童補助員2人を基本的な人員配置とする。
- ・施設基準 衛生及び安全が確保された専用区画等（保育スペース（静養スペースを含む））を設置する。その専用区画等の児童1人あたりの面積は1.65㎡以上の専用スペースを確保する（静養スペースは複数の施設を併設している場合、共用可とする）。また、バリアフリー対応や室内遊び、昼寝のためのスペースにも配慮する。
- ・施設設備 1支援あたり、次の設備及び設備数を基本とする。

※ 小学校の余裕教室等を改修する場合においても同様とする。

(ア) 男女別トイレ

男性用の洋式トイレ、女性用の洋式トイレ、多目的トイレを各1基以上設置する。

(イ) 手洗い場

手洗い場は、室内に設置し、蛇口3つ以上を基本とする。また、室外にも蛇口を2つ以上備えた手洗い場を設置する（校舎内の学童は整備場所に依じて可能な限り対応する。）

(ウ) エアコン・換気扇

エアコン・換気扇は室内の面積に加え、児童数に対応できる能力を有する設備を設置する。

(エ) 台所

おやつを提供や片付けが行えるよう、台所にシンクを設置する他、アレルギー食への対応のため、おやつを安全に準備するためのスペースについても考慮する。

- ・備品等 衛生及び安全が確保された設備を備え、子どもの所持品を収納するロッカーや下駄箱、机、いす等の子どもの生活に必要な備品を備える。なお、ロッカーや下駄箱は、子ども一人ひとりに専用のものを設ける必要がある。その他、遊びを豊かにするための遊具や遊びの素材、図書、遊びの素材を備える。遊びの素材については、子どもが自主的・創造的に遊ぶことができるものも用意する。また、年齢に応じた遊びや活動ができるように空間や設備、備品等の配置を工夫する。

② 開設時間

- ・平日 放課後から午後6時
- ・土曜及び長期休業期間 午前8時30分～午後6時
(平日及び長期休業期間共に、前後30分の延長保育有。)

(4) 入室児童数及び職員配置の現状

令和2年4月1日現在、入室児童数 1,040 人に対して、支援員が13人不足しています。各学童保育室の受入児童数に応じた適正な職員数を配置できるよう、処遇改善等を図り人材確保に努めます。併せて、支援員に対する研修等の実施により、資質の向上を図ります。

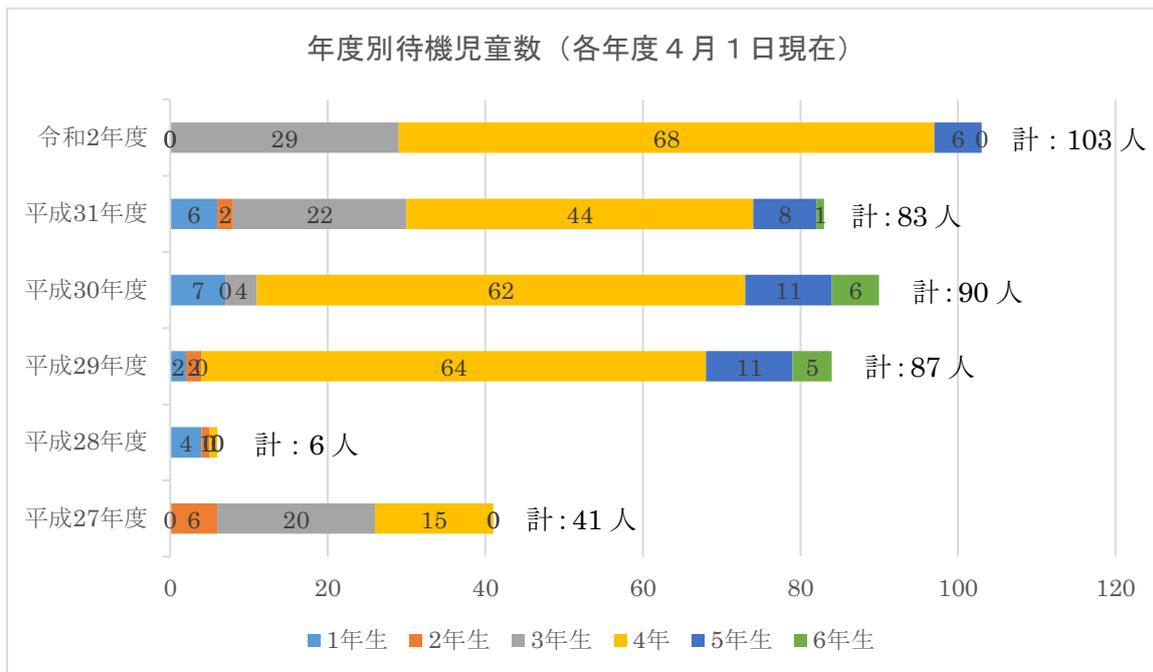
令和2年4月1日現在 単位：人

No.	施設名	必要配置数		配置状況		増減数	
		支援員	補助員	支援員	補助員	支援員	補助員
1	豊岡学童保育室	4	1	2	4	-2	+3
2	藤沢学童保育室	3	2	3	2	±0	±0
3	西武学童保育室	3	2	3	2	±0	±0
4	西武第二学童保育室	3	2	2	3	-1	+1
5	東金子学童保育室	3	2	3	1	±0	-1
6	藤沢北学童保育室	6	4	3	3	-3	-1
7	高倉学童保育室	3	2	3	2	±0	±0
8	黒須学童保育室	4	1	4	1	±0	±0
9	扇学童保育室	4	1	4	1	±0	±0
10	扇第二学童保育室	3	2	3	2	±0	±0
11	金子学童保育室	3	2	2	2	-1	±0
12	金子第二学童保育室	3	2	2	2	-1	±0
13	狭山学童保育室	4	1	4	1	±0	±0
14	藤沢南学童保育室	3	2	2	2	-1	±0
15	藤沢南第二学童保育室	3	2	2	2	-1	±0
16	藤沢東学童保育室	3	2	3	2	±0	±0
18	藤沢東第二学童保育室	3	2	3	2	±0	±0
17	仏子学童保育室	3	2	3	1	±0	-1
19	宮寺学童保育室	3	2	2	4	-1	+2
20	新久学童保育室	3	2	3	1	±0	-1
21	東町学童保育室	3	2	2	2	-1	±0
22	東町第二学童保育室	3	2	2	2	-1	±0
計		73	42	60	44	-13	+2

(5) 待機児童の現状

年齢別に待機児童を見ると待機児童数は4学年が最も多く、次いで3学年に多く発生しています。5月1日児童・生徒数・学級数一覧表（学校基本調査）より、児童の総数は減少してきているものの、学童保育室に対するニーズは上昇傾向にあります。

①年度別待機児童数



②学年別入室児童数及び待機児童数の各割合

令和2年4月1日現在

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
入室児童数	395人	334人	235人	62人	13人	1人	1,040人
(割合)	38.0%	32.1%	22.6%	6.0%	1.3%	0.1%	100%
待機児童数	0人	0人	29人	68人	6人	0人	103人
(割合)	0%	0%	28.2%	66.0%	5.8%	0%	100%

※割合は、小数点第2位を四捨五入。

※待機児童数については、市立学童保育室の入室が保留だが「アフタールーム チポリーノ」に入室している児童は除く

6 施設整備の具体的計画

以上の現状から、学童保育室施設整備については、老朽化や待機児童の発生を課題と捉えます。『入間市子ども・子育て支援事業計画』において、小学校別の量の見込みと確保の内容が示されており、その整合性を図りつつ、以下の具体的な計画により、必要とする学童保育室の整備を進めることで老朽化と待機児童の解消を図ります。

(1) 量の見込と確保の内容

①過去実績

各年度4月1日現在

学年	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
1年生	415人	324人	382人	361人	363人
2年生	344人	334人	286人	332人	322人
3年生	259人	262人	245人	239人	273人
4年生	82人	107人	134人	122人	109人
5年生	6人	25人	26人	21人	15人
6年生	2人	2人	10人	7人	5人
計	1,108人	1,054人	1,083人	1,082人	1,087人

※入室児童と待機児童の合計

②入間市子ども・若者未来応援プラン(令和2年度)より

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
量の見込 ①	1年生	365人	364人	353人	349人	337人
	2年生	327人	312人	311人	305人	303人
	3年生	259人	257人	246人	245人	239人
	4年生	118人	124人	120人	115人	114人
	5年生	19人	23人	25人	26人	26人
	6年生	6人	4人	7人	7人	10人
計		1,094人	1,084人	1,062人	1,047人	1,029人
確保の内容②		1,136人	1,146人	1,190人	1,190人	1,190人
差(②-①)		42人	62人	128人	143人	161人

③確保の内容（令和6年度 職員体制）

	施設名	確保の内容	支援数	職員の配置基準	
				支援員	補助員
1	豊岡学童保育室	80人	2	6人	4人
2	藤沢学童保育室	52人	2	4人	1人
3	西武学童保育室	40人	1	3人	2人
4	西武第二学童保育室	40人	1	3人	2人
5	東金子学童保育室	80人	2	4人	1人
6	藤沢北学童保育室	120人	3	9人	6人
7	高倉学童保育室	40人	1	3人	2人
8	黒須学童保育室	80人	2	6人	4人
9	扇学童保育室	63人	2	4人	1人
10	扇第二学童保育室	48人	1	4人	1人
11	金子学童保育室	40人	1	3人	2人
12	金子第二学童保育室	40人	1	3人	2人
13	狭山学童保育室	79人	2	4人	1人
14	藤沢南学童保育室	40人	1	3人	2人
15	藤沢南第二学童保育室	40人	1	3人	2人
16	藤沢東学童保育室	66人	2	4人	1人
17	藤沢東第二学童保育室	40人	1	3人	2人
18	仏子学童保育室	47人	1	4人	1人
19	宮寺学童保育室	35人	2	3人	2人
20	新久学童保育室	40人	1	3人	2人
21	東町学童保育室	40人	1	3人	2人
22	東町第二学童保育室	40人	1	3人	2人
合計		1,190人	30	85人	45人

(2) 施設整備の基本的な考え方

老朽化の著しい施設については、屋根の防水工事やトイレ修繕などの小規模な施設修繕により対応しているところですが、既存施設を安全・安心な状態で維持していくとなると、これからの10年間で全面改築や大規模改修が必要となり、多大な整備費用が必要となります。

子どもたちの安全の確保はもちろんのこと、公共施設のマネジメントの観点からも、計画的かつ効率的・効果的な施設の整備を進めていく必要があります。

今後も児童への安全・安心な保育環境を提供していくためには、今後の人口推移と保育の需要と供給のバランスを考慮した上で、計画的に施設の長寿命化、更新および統廃合等を行う必要があります。

公共施設マネジメントの基本的な考え方を踏まえ、統廃合により施設の数については減少することになりますが、施設の集約化や更新による運営の効率化を進めることで、定員の拡充や人員、施設、設備の充実にも取り組み、公立学童保育室としての役割が果たせるように計画し、子育て・子ども育成支援の向上を図っていく考えです。

現時点での基本的な計画としては、入間市公共施設マネジメント事業計画期間内（令和30（2048）年）において、最終的には地域区分である市内9地区に統合・整備される小学校に併せて複合化します。

【公共施設マネジメント事業計画における学童保育室の全体スケジュール】

地区名	対象施設 (令和2年4月1日現在)	第1期 (2019~ 2028)	第2期 (2029~ 2038)	第3期 (2039~ 2048)
豊岡第一	扇学童保育室 扇第二学童保育室		小学校の建替え に併せ複合化	
豊岡第二	豊岡学童保育室 東町学童保育室 東町第二学童保育室			小学校の統合・再 整備に併せ複合 化
豊岡第三	黒須学童保育室 高倉学童保育室		小学校の統合・再 整備に併せ複合 化	
東金子	東金子学童保育室 新久学童保育室		小学校の統合・再 整備に併せ複合 化	
金子	金子学童保育室 金子第二学童保育室		金子学童保育室 を校舎の建て替 えに併せ複合化	金子第二学童保 育室を複合化
宮寺 二本木	狭山学童保育室 宮寺学童保育室	小学校の統合・再 整備に併せ複合 化		
藤沢第一	藤沢学童保育室 藤沢北学童保育室		小学校の統合・再 整備に併せ複合 化	
藤沢第二	藤沢東学童保育室 藤沢東第二学童保育室 藤沢南学童保育室 藤沢南第二学童保育室		小学校の統合・再 整備に併せ複合 化	
西武	西武学童保育室 西武第二学童保育室 仏子学童保育室		小学校の統合・再 整備に併せ複合 化	

(3) 取組方向

- ①小学校校舎の統合、改修、建替えに併せて複合化を進めます。
- ②学童保育の必要性や施設の老朽化の状況が確認できれば、学校の整備に先行して整備することも検討します。

7 施設整備を進めるにあたっての考え方

施設整備を進めるにあたって、本計画期間（公共施設マネジメント事業計画第1期）内においては、次のとおり考え方を整理します。

(1) 施設整備の考え方

待機児童の発生や施設の老朽化の状況を踏まえ、学校の整備に先行して学童保育室を整備します。

整備にあたっては、小学校の余裕教室の活用を前提として、校舎内に整備するものとし、余裕教室がないなど、校舎内の整備が困難な場合は、小学校の敷地内に建設することを検討します。

また、学童保育室及び放課後子ども教室が一体型として整備されるよう、放課後子ども教室の活動場所も併せて検討します。

(2) 小学校の統合に合わせた施設配置の考え方

小学校校舎の改修、建替えに併せて複合化を進めます。

(3) 施設規模の考え方

統廃合を伴う施設整備については、地域の学童保育のニーズを下回らない規模とし、定員の内訳は、需要と供給のバランスを考慮して設定します。

(4) 放課後児童支援員からの意見聴取

各学童保育室の設計にあたっては、学童保育室の施設・設備基準を基本として、放課後児童支援員から意見を聴き、設備の配置等を考慮することが必要です。

(5) 保育の質や保護者ニーズへの考え方

施設整備を進める際には、児童が自ら主体的に生活し遊ぶことのできる場所の確保、静養スペースの確保、また、駐車場や引き渡しのスペース等の確保についても検討するなど、だれもが利用しやすい施設整備を進めていく必要があります。

8 年別計画 第1期 (2019~2028年)

施設名	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
扇学童保育室		設計	工事							
扇第二学童保育室		設計	工事							
豊岡学童保育室		設計	工事	2022年度 2支援定員80人						
東町学童保育室										
東町第二学童保育室										
黒須学童保育室										
高倉学童保育室		設計	工事	2022年度 1支援 定員40人						
東金子学童保育室		設計	工事	2022年度 2支援 定員80人						
新久学童保育室										
金子学童保育室										
金子第二学童保育室										
狭山学童保育室										統合 複合化
宮寺学童保育室										
藤沢学童保育室										
藤沢北学童保育室		設計	工事	2022年度 3支援 定員120人						
藤沢南学童保育室										
藤沢南第二学童保育室										
藤沢東学童保育室										
藤沢東第二学童保育室	工事	2020年度 1支援 定員40人								
西武学童保育室										
西武第二学童保育室										
仏子学童保育室										

9 地区別整備実施計画

(1) 豊岡地区

○地区の状況

令和2年4月1日現在

人 口	54,448人	
世帯数	24,825世帯	
学童保育施設 (入室者数/定員数)	扇学童保育室	(59人/60人)
	扇第二学童保育室	(50人/50人)
	豊岡学童保育室	(70人/70人)
	東町学童保育室	(48人/50人)
	東町第二学童保育室	(36人/40人)
	黒須学童保育室	(73人/70人)
	高倉学童保育室	(44人/70人)

○施設概要

令和2年4月1日現在

	施設名	設置年月	年数	構造	設置場所	面積 (㎡)	定員 (人)
1	扇学童保育室	平成元年4月	31	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	105.1	60
2	扇第二学童保育室	平成22年4月	10	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	79.3	50
3	豊岡学童保育室	昭和59年3月	36	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	142.6	70
4	東町学童保育室	平成19年4月	13	鉄筋コンクリート造	校舎内	90.4	55
5	東町第二学童保育室	平成31年4月	1	鉄筋コンクリート造	校舎内	96.0	40
6	黒須学童保育室	平成6年11月	25	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	172.7	70
7	高倉学童保育室	昭和59年4月	36	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	139.3	70

○豊岡地区の学童保育室の入室児童数

令和2年4月1日現在

学童保育室	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	待機児童数
扇学童保育室	29	16	14	0	0	0	59	7
扇第二学童保育室	20	17	13	0	0	0	50	11
豊岡学童保育室	23	29	18	0	0	0	70	10
東町学童保育室	14	14	10	8	2	0	48	0
東町第二学童保育室	14	10	4	6	2	0	36	0
黒須学童保育室	29	21	20	3	0	0	73	0
高倉学童保育室	20	13	10	1	0	0	44	0
合 計	149	120	89	18	4	0	380	28

○整備計画

老朽化の激しい扇学童保育室については、棟続きである扇第二学童保育室と合わせて改修します。老朽化が激しく独立した建物である豊岡学童保育室及び高倉学童保育室については、それぞれ学校校舎内に移転し、定員を増員するとともに、一体型として放課後子ども教室を実施できる施設を整備します。

地区	学童保育室	整備内容	備考
豊岡第一	扇学童保育室	令和3年度に老朽化に対応するための改修工事	待機児童に対しては児童センター・ランドセル来館及び放課後子ども教室の実施日数の拡大により対応第2期（2029～2038）に扇小の建て替え工事に併せ、校舎内に整備を予定
	扇第二学童保育室		
豊岡第二	豊岡学童保育室	令和3年度に豊岡小学校校舎内に移転工事 2支援定員80人 ※放課後子ども教室との一体型の運営を想定し整備	
	東町学童保育室		平成19年度整備済み
	東町第二学童保育室		平成31年度整備済み
豊岡第三	黒須学童保育室	令和3年度に高倉小学校校舎内に移転工事 1支援定員40人 ※放課後子ども教室との一体型の運営を想定し整備	第2期（2029～2038）の黒須小と高倉小の統合、移転新設に併せ、校舎内に整備を予定
	高倉学童保育室		

(2) 東金子地区

○地区の状況

令和2年4月1日現在

人 口	16,238
世帯数	7,293世帯
学童保育施設 (入室者数/定員数)	東金子学童保育室 (45人/70人) 新久学童保育室 (42人/70人)

○施設概要

令和2年4月1日現在

	施設名	設置年月	年数	構造	設置場所	面積(m ²)	定員(人)
1	東金子学童保育室	昭和56年6月	38	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地外	129.6	70
2	新久学童保育室	平成17年4月	15	鉄筋コンクリート造	校舎内	97.9	60

東金子地区の学童保育室の入室児童数

令和2年4月1日現在

学童保育室	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	待機児童数
東金子学童保育室	21	12	10	2	0	0	45	8
新久学童保育室	13	13	6	6	4	0	42	0
合 計	34	25	16	8	4	0	87	8

○整備計画

老朽化が激しく独立した建物で校地外にある東金子学童保育室については、学校校舎内に移転し、定員を増員するとともに、一体型として放課後子ども教室を実施できる施設を整備します。

地区	学童保育室	整備内容	備考
東金子	東金子学童保育室	令和3年度に東金子小学校舎内に移転工事 2支援定員80人 ※放課後子ども教室との一体型の運営を想定し整備	第2期(2029~2038)には東金子小と新久小の統合に併せ、東金子小学校舎内に整備を予定
	新久学童保育室		

(3) 金子地区

○地区の状況

令和2年4月1日現在

人 口	9,556人
世帯数	4,020世帯
学童保育施設 (入室者数/定員数)	金子学童保育室 (37人/50人) 金子第二学童保育室 (32人/40人)

○施設概要

令和2年4月1日現在

	施設名	設置年月	年数	構造	設置場所	面積 (㎡)	定員 (人)
1	金子学童保育室	平成2年7月	29	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	71.0	50
2	金子第二学童保育室	平成29年3月	3	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	66.2	40

○金子地区の学童保育室の入室児童数

令和2年4月1日現在

学童保育室	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	待機児童数
金子学童保育室	20	5	11	1	0	0	37	2
金子第二学童保育室	12	10	2	8	0	0	32	0
合 計	32	15	13	9	0	0	69	2

○整備計画

本計画期間内での整備の予定はありません。

地区	学童保育室	整備内容	備考
金子	金子学童保育室		第2期(2029~2038)に金子小の建替えに併せ、校舎内に整備を予定
	金子第二学童保育室		第3期(2039~2048)に金子小学校舎内に整備を予定

(4) 宮寺・二本木地区

○地区の状況

令和2年4月1日現在

人 口	11,377人	
世帯数	4,865世帯	
学童保育施設 (入室者数/定員数)	狭山学童保育室 (59人/70人)	宮寺学童保育室 (34人/35人)

○施設概要

令和2年4月1日現在

	施設名	設置年月	年数	構造	設置場所	面積 (㎡)	定員 (人)
1	狭山学童保育室	平成20年4月	12	軽量鉄骨造 プレハブ平屋建	校地内	130.8	70
2	宮寺学童保育室	平成12年11月	19	鉄筋コンクリ ート造	校舎内	63.7	35

○宮寺・二本木地区の学童保育室の入室児童数

令和2年4月1日現在

学童保育室	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	待機児童数
狭山学童保育室	21	23	15	0	0	0	59	13
宮寺学童保育室	16	8	4	6	0	0	34	0
合 計	37	31	19	6	0	0	93	13

○整備計画

宮寺・二本木地区で、小学校の統合・再整備に合わせて複合化していきます。2つの学童保育室を統合することで、効率的な人員配置を行います。

地区	学童保育室	整備内容	備考
宮寺・ 二本木	狭山学童保育室	令和10年度に学校の統合・再整備に合わせ、校舎内に整備。 3支援定員 120人	
	宮寺学童保育室		

(5) 藤沢地区

○地区の状況

令和2年4月1日現在

人 口	34,542人	
世帯数	15,320世帯	
学童保育施設 (入室者数/定員数)	藤沢学童保育室	(52人/40人)
	藤沢北学童保育室	(86人/70人)
	藤沢南学童保育室	(30人/40人)
	藤沢南第二学童保育室	(29人/40人)
	藤沢東学童保育室	(45人/70人)
	藤沢東第二学童保育室	(38人/40人)

○施設概要

令和2年4月1日現在

	施設名	設置年月	年数	構造	設置場所	面積 (m ²)	定員 (人)
1	藤沢学童保育室	平成6年3月	26	木造平屋建	校地内	138.1	40
2	藤沢北学童保育室	昭和58年6月	36	軽量鉄骨造 プレハブ平屋建	校地外	142.6	70
3	藤沢南学童保育室	平成30年4月	2	鉄骨造2階建	校地内	69.5	40
4	藤沢南第二学童保育室	平成30年4月	2	鉄骨造2階建	校地内	77.0	40
5	藤沢東学童保育室	平成5年4月	27	鉄筋コンクリート造	校地内	110.3	70
6	藤沢東第二学童保育室	令和2年4月 (平成24年2月築)	8	鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	107.6	40

○藤沢地区の学童保育室の入室児童数

令和2年4月1日現在

学童保育室	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	待機児童数
藤沢学童保育室	24	21	7	0	0	0	52	13
藤沢北学童保育室	30	39	17	0	0	0	86	21
藤沢南学童保育室	9	8	7	4	2	0	30	0
藤沢南第二学童保育室	8	7	7	4	2	1	29	0
藤沢東学童保育室	14	11	13	6	1	0	45	0
藤沢東第二学童保育室	15	9	11	3	0	0	38	0
合 計	100	95	62	17	5	1	280	34

○整備計画

老朽化が激しく、狭隘で待機児童が発生している藤沢北学童保育室は、藤沢北小学校敷地内に移転し、定員を増員します。

地区	学童保育室	整備内容	備考
藤沢第一	藤沢学童保育室		藤沢小学校の待機児童に対しては民間学童保育室の活用及び放課後子ども教室の実施日数の拡大により対応 第2期(2029~2038)に藤沢小・藤沢北小の統合・建替えに併せ、藤沢小学校舎内に整備を予定
	藤沢北学童保育室	令和2年度に設計、令和3年度藤沢北小学校校地内に移転工事 3支援定員120人	
藤沢第二	藤沢南学童保育室		藤沢南・藤沢南第二学童保育室は平成30年度整備済み 第2期(2029~2038)に藤沢東・藤沢南小の統合・建替えに併せ、藤沢東小学校舎内に整備を予定
	藤沢南第二学童保育室		
	藤沢東学童保育室		
	藤沢東第二学童保育室	令和2年4月校地内開設 1支援定員40人	

(6) 西武地区

○地区の状況

令和2年4月1日現在

人 口	21,381人
世帯数	9,737世帯
学童保育施設 (入室者数/定員数)	西武学童保育室 (39人/40人) 西武第二学童保育室 (40人/40人) 仏子学童保育室 (52人/50人)

○施設概要

令和2年4月1日現在

	施設名	設置年月	築年数 (年)	構造	設置場所	面積 (㎡)	定員 (人)
1	西武学童保育室	平成27年1月	5	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	67.0	40
2	西武第二学童保育室	平成27年1月	5	軽量鉄骨造プレハブ平屋建	校地内	67.0	40
3	仏子学童保育室	平成8年4月	24	木造平屋建	校地内	77.8	50

○西武地区の学童保育室の入室児童数

令和2年4月1日現在

学童保育室	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	待機児童数
西武学童保育室	13	15	11	0	0	0	39	10
西武第二学童保育室	14	17	9	0	0	0	40	13
仏子学童保育室	16	16	16	4	0	0	52	5
合 計	43	48	36	4	0	0	131	28

○整備計画

本計画期間内での整備の予定はありません。

地区	学童保育室	整備内容	備考
西武	西武学童保育室		待機児童に対しては放課後子ども教室の実施日数の拡大及びランドセル来館事業等の実施により対応 第2期(2029~2038)に西武小・仏子小の統合・建替えに併せ、西武小学校舎内に整備を予定
	西武第二学童保育室		
	仏子学童保育室		

10 (参考) その他学童保育室運営の現状

- (1) 「入間市子ども・若者未来応援プラン」に基づき、放課後子ども教室について、学校、学童保育室との一体型の整備を図っています。
- (2) 公共施設マネジメント事業計画に基づく学校の統廃合等も見据えて、施設整備を行っています。
- (3) 保育料については、平成 18 年度に改定して以来、2度の消費税増税の中でも据え置きとなっています。当市の保育料 7,000 円（おやつ代含む）は、近隣市と比較しても低額となっています。

【近隣市保育料の状況】

令和元年 6 月末調査

自治体名	保育料	延長保育料	その他
入間市	月額 7,000 円	延長保育料 設定なし	
所沢市	月額 10,000 円 (2 人目より 5,000 円)		傷害保険料 年額約 1,000 円
狭山市	月額 10,000 円	延長保育料 日額 200 円 (朝夕別) 月上限 2,500 円	
飯能市	月額 11,000 円	延長実施なし	入所金 10,000 円
日高市	月額 12,000 円	延長保育料 日額最大 500 円 月額 19:00 まで 500 円 19:30 まで 2,000 円 20:00 まで 5,000 円	

(4) 開設時間の延長について

平成 30 年度に実施した入間市子ども子育て支援事業計画ニーズ調査報告書によると、学童保育室の希望利用時間は、19 時台から 20 時以降を希望する割合は、9.1%という結果でした。このようなことから、当市でも開設時間の延長について、職員の働き方や待遇、人材確保について関係課と調整しながら保護者のニーズに対応していく必要があります。

【近隣市開設時間の状況】

令和元年 6 月末調査

	開設時間	延長保育対応	民間委託等
入間市	平日：放課後～18：00 土曜：8：30～18：00 長期：8：30～18：00	朝：8：00～8：30 夕：18：00～18：30	公設公営 26 支援
所沢市	平日：放課後～18：00 土曜：8：30～18：00 長期：8：30～18：00 ※緊急対応 19：00 まで	21：00 まで可能 (19：00 以降有料・時間は施設による)	公設民営 51 支援 民設民営 5 支援
狭山市	平日：放課後～18：30 土曜：8：00～18：00 長期：8：00～18：30	朝：7：30～8：00 夕：18：30～19：00	公設公営 20 支援 公設民営 16 支援 民設民営 1 支援
飯能市	平日：10：30～19：00 土曜：7：30～19：00 長期：7：30～19：00	実施なし	公設民営 14 支援 民設民営 2 支援
日高市	平日：放課後～18：30 土曜：7：30～18：30 長期：7：30～18：30	20：00 まで可能 (有料)	公設民営 12 支援 民設民営 7 支援

(5) 学童保育室の業務委託化について

現在、配置基準を満たす放課後児童支援員の確保が困難な状態が続いており、人員不足により待機児童が発生している学童保育室もあります。このような状況を改善する手法の一つとして一部学童保育室の業務委託化について検討する必要があります。